

令和3年2月25日

保護者 各位

岡山県立東備支援学校

校長 梶谷 淳子

令和2年度学校評価 保護者アンケートの結果について（報告）

向春の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。

昨年実施した学校の教育活動に関する保護者アンケートでは、お忙しい中、ご回答くださ
いまして誠にありがとうございました。本年度の回答率は、小学部97.4%、中学部95.
8%、高等部87.5%、計92.4%でした。アンケートの集計結果を別紙のとおり報告
いたします。自由記述でいただいた貴重なご意見を真摯に受け止め、検討した回答を別紙に
てお知らせいたします。今後、ご意見をもとに、学校教育活動の充実を図ってまいります。

今後とも、ご理解、ご支援をよろしくお願いいたします。

令和２年度学校評価アンケート項目

4:よくあてはまる 3:ややあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

No.	評 価 内 容
1	学校は、教育目標や経営方針がよく分かるように説明している。
2	学校は、障害や発達に応じたきめ細かい指導や合理的配慮を行っている。
3	子どもは、学校に行くことを楽しんでいる。
4	学校は、一人一人に合った学習内容や教材を準備している。
5	学校は、体験的活動を多く取り入れている。
6	学校は、一人一人の実態に合わせて個別学習や集団での学習などを行っている。
7	教員は、情報を共有してチームで指導・支援を行っている。
8	学校は、様々な学校行事で子どもが力を発揮できる場面をつくっている。
9	学校は、進路や福祉サービスについて必要な情報を収集し、提供している。
10	教員は、一人一人の人権を尊重した指導や支援を行っている。
11	学校は、子どものプライバシーに配慮している。
12	学校は、健康管理や疾病予防、事故防止に取り組んでいる。
13	学校は、整理整頓や清掃ができています。
14	学校は、安全に学習や生活ができるように施設や設備を整備している。
15	教員は、個別の教育支援計画や個別の指導計画で、課題や取組を明確に示している。
16	教員は、懇談等で指導経過や評価などを丁寧に説明している。
17	教員は、ホームページや通信、連絡帳などで学校や生活の様子を知らせている。
18	教員は、相談しやすく丁寧に対応している。
19	学校は、地域の資源（交流校や地域の人材、公共機関や施設など）を活用している。
20	学校は、医療や福祉、労働などの関係諸機関と連携を図っている。
21	学校は、いじめ防止に努め、いじめ問題について適切に対応している。

令和2年度 学校評価アンケート結果

回収率：保護者：全 92.4%

小：97.4%、中：95.8%、高：87.5%

※令和元年度：79.5%（小：94.7%、中：70.0%、高：74.1%）

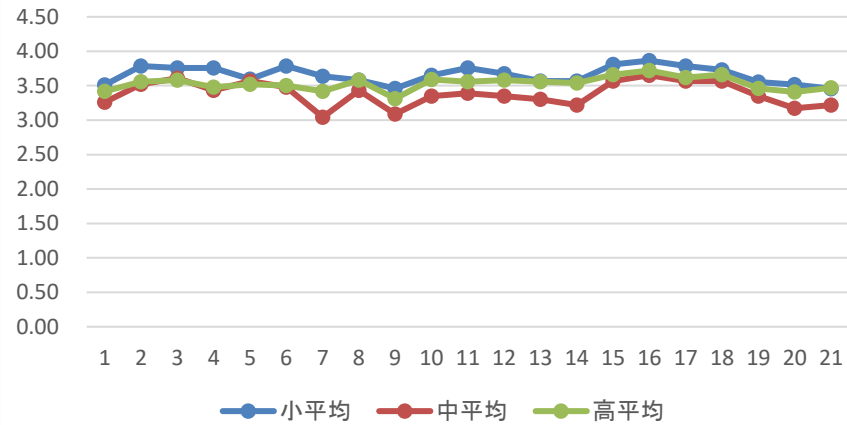
教 員：小中高100%回収

高評価項目		
	保護者	教員
1	⑯ 説明(経過、評価)	⑪ 個人情報管理
2	⑮ 指導計画での課題の明確化	⑰ 広報
3	⑱ 相談しやすく丁寧な対応	③ 授業参加
3	⑰ 広報	⑫ 危機管理
5	③ 授業参加	① 学校教育目標
	※上位3項目はRIも同じような項目	※RIの広報15位、危機管理13位が 上位へ

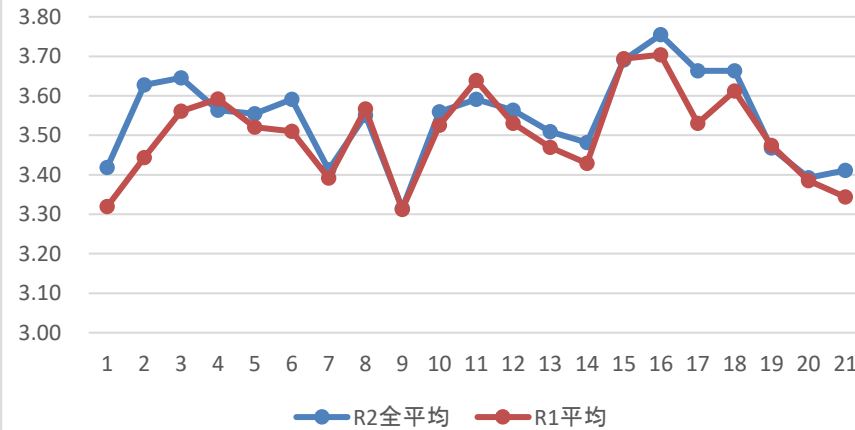
低評価項目		
	保護者	教員
1	⑨ 進路・福祉の情報提供	⑭ 施設・設備
2	⑳ 医療・福祉・労働等との連携	⑨ 進路指導
3	㉑ いじめ防止	㉑ 関係機関との連携
4	⑦ チームで指導・支援	⑬ 環境
5	① 教育目標・経営方針の説明	⑧ 学校行事
	※RIも同じような項目	※学校行事が下位に

学校評価のグラフ

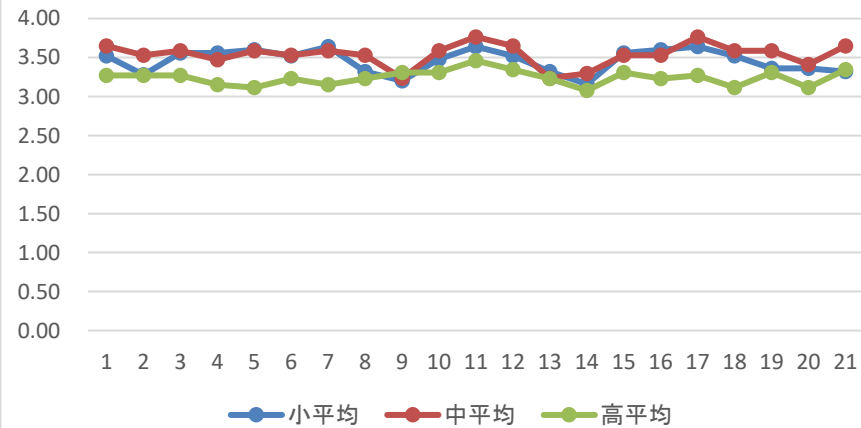
令和2年度学部別保護者評価



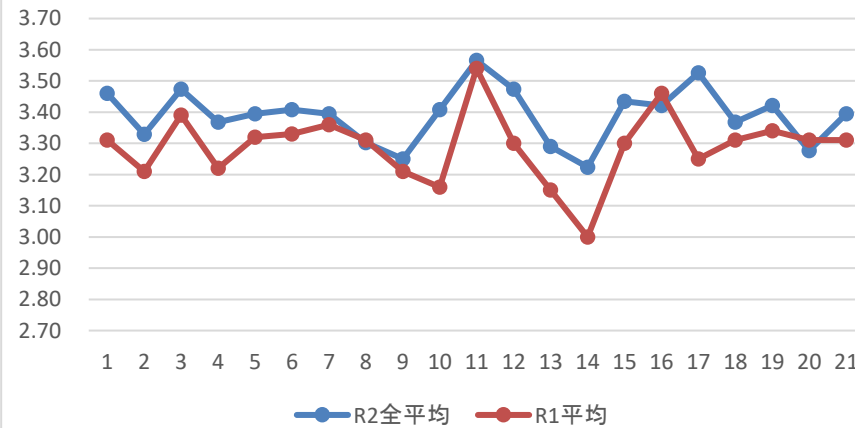
昨年度との保護者評価比較



令和2年度学部別教職員評価



昨年度との教職員評価比較



保護者の意見・回答

意見	回答
・非常によく対応していただき、個別の配慮もしていただいております。このまま継続していただけるとありがたいです。	・ありがとうございます。 教員の言葉遣いは、人権の観点からも気を付けていきます。
・先生方のチームワークの良さが子ども達に影響を与えています。先生同士の言葉遣いなど気を付けていただきたいです。	
・駐車場がデイサービスの迎えなどが多く停めにくい、通りにくい（特に水曜）。また、冬場に生徒が持久走をしていて危なく感じる。	・ご心配をおかけしました。駐車場を安全に利用していただけるよう、来年度、玄関前の駐車場や校内の駐車スペースを改善する予定です。
・迎えに行く時、車が多く停められない時があります。	
・特性としてのこだわりの強さを含め、他者との関わりの中で手が出たりする子どももいると思います。何をもらっていじめととるのか、自分から嫌なことを伝えられない場合、いじめにカウントされないケースもあるかもしれません。学年が大きくなるとでてくる問題だと思うので、よくある困った状況や対応の内容など、情報提供していただけると心構えができて、早期の対処にむすびつくかもしれないので、特別支援学校での生徒同士の関わり方、先生の対応などあたりまえにあることは知りたいと思います。	・いじめの捉え方で随分と対応も変わってくるので、来年度は学部懇談やスクールカウンセラー等の講話を設定し、お話の「困った状況や対応の内容」等を保護者の皆様と共有していくようにします。
・スクールバスに毎日乗っておられる介助員の方へ、子どもの特性や情報をあらかじめ伝えることができるような機会や方法があれば保護者もバスの側もより安心してバスを利用することにつながるのではないかと感じました。	・スクールバス利用の「許可願」に記述していただくとともに、日々の状況についてバスの添乗員と共有しにくいときは、遠慮なく学級担任等にお知らせください。また、ご家庭で作っておられる「支援ファイル」等について、可能であればスクールバス添乗員とも共有させていただきます。 スクールバスや自主通学については、自立と社会参加に向けて必要な指導の一つであることから、目標を設定し、ご家庭と協力しながら必要な指導・支援が行えるよう考えていきます。
・バスについて、誰もが気持ちよく通学できるように柔軟な対応をしていただきたいです。	
・小学1・2・3年用（1階の）トイレを整備していただいております。とても行きやすい雰囲気、清潔感も出て、トイレトレーニングにも取り組みやすい体勢になっていると思います。設備等不便な所がありましたら改修していただける様、今後とも、よろしくお願い致します。	・コロナ禍も影響し、工期が当初の予定より長くなるなど、長らくご不便をおかけしましたが、おかげ様で十分な改修を行うことができました。ご協力感謝いたします。今後とも児童生徒の安心安全かつ快適な学習環境を整えていけるよう進めていきたいと考えています。
・同じ学年の中でも知的格差があるので、そこをどうその子の学力に合わせるか、難しいと思う。就職についても同じ。できない子が劣等感を感じないように配慮してほしいです。	・日々の指導では、一人一人の目標設定による指導内容を設定しています。就労については、いろいろな選択肢を用意するとともに、実際の先輩の活躍を広報や「先輩の話を聞く会」などで紹介するなど、誇りをもって就労できるよう検討していきます。

・ 中学部から校外の実習があつてありがたいです。 ・ 高等部での校外の現場実習の回数を増やして欲しいです。(希望者だけでよいので) A 型事業所や一般就労は特に増える方がいいなと思います。	・ 中学部は学校周辺の事業所で、短期間の職場体験をしており、今後も継続していく予定です。 ・ 高等部の「産業現場における実習」は、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、1 学期は 3 年生のみが実施しました。1・2 年生は、2・3 学期に実習を行いました。次年度も校外での実習については、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、受け入れ先の事業所と連携して安全に実施できるように計画します。また今後は、地域型実習も視野に入れながら学びの機会を増やすとともに、校内での学習がさらに充実するよう取り組みんでいきます。
・ 保護者からの思いを送迎の際にお伝えする事が多くあります。最近では先生方間でとても良く情報共有がなされている様に思い心強いです。高等部になり思いますが、残り時間(学校生活)の短さに急に焦りを感じています。中学部 1 年の内から保護者向けに事業所見学などがあれば良かったと思います。	・ 早期からの進路研修として、中学部でも事業所見学を設定しましたが、学校全体として計画的に見学や研修の機会が持てるよう再考していきます。
・ トモニ教材?子どもには合っているようでとても力がついたように思います。が、一療育のやり方を学校全体で取り組むのなら、どういうプラスがあつてそれにする—という説明があればよかったのに、と思います。(トモニ教材への反対意見ではありません。) 枠が小さかったので残念です。アンケートの回数も少ないと感じます。	・ 本校ではこれまでも、TEACCH プログラムや PECS、ABA などの指導法や考え方を取り入れながら指導を行ってきました。今年度新たにトモニ教材を活用したことについては十分なお説明ができておらず、申し訳ありませんでした。 国の学習指導要領をもとに、岡山県教育委員会の「第 3 次推進プラン」の中で「何の力をつけるかを明確にすることが求められており、今年度は、国語、算数・数学の学力向上を研究の柱として進めてきました。そのなかで、共通の教材としてトモニ教材を取り上げ、学校全体で取り組みました。一年間の取組により一定の成果が見られています。
・ ホームページ関連リンクに「NPO 法人トモニ発達…」のリンクが貼つてありますが、学校としてトモニと連携しているのでしょうか?教材についても、小・中では授業で積極的に使われている様ですが、親としては、一療育施設の療育方法を学校で推奨されている事に違和感を覚えます。素晴らしい方法なのかもしれませんが、学校として、何故その方法を取り入れているのか、説明も不十分な気がしてなりません。岡山県教育委員会の指導方針なののでしょうか?東備独自のものなのでしょうか?!急に始まった事にとまどいを感じます。	来年度は PTA 総会等で具体的な学校経営についての説明の機会を設けるとともに、参観日や懇談等で具体的な学習やお子さまの伸びをお話しできるようにしていきます。
・ 親同士、横の関係をつくれる場面をつくってほしい。(まだつながれるお友達が出来ていません 私の場合は) コロナで今は難しいと思いますが。	・ PTA の方とも相談し、PTA 文化部研修の回数の増加や PTA お茶べりの実施等について検討していきます。
・ コロナの影響で、オンラインの研修会などが多くなった様に思います。可能な限り、学校で参加できるとありがたいです。	・ 校内に会場を設けて、オンライン研修を受けられるようにすることを検討します。また、内容によっては会場の工夫をするなどして、ご一緒に参加していただける方法を検討していきます。